

第2学年2組 保健体育科 学習指導案

指導者 雲南市立木次中学校 船木 秀一

1 単元名 ダンス（現代的なリズムのダンス）

2 単元の目標

- (1) ダンス学習に仲間とともに積極的に取り組むことと共に、分担した役割を果たしたり、互いの違いや良さを認めたりできるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにしたり、仲間の良い動きや表現をみつけたりできるようにする。 【思考・判断】
- (3) リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 【技能】
- (4) 踊りの特性、表現の仕方、ダンスをすることで関連して高まる体力、などを理解できるようにする。 【知識・理解】

3 基盤

(1) 教材観

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

中学校のダンスの授業では、イメージをとらえたり深めたりする表現をすること、伝承されてきた踊りを踊ること、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにすることが求められる。

特に現代的なリズムのダンスは、ロックやヒップホップなどの現代的なリズムの曲で踊るダンスを示しており、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って体幹部（重心部）を中心に全身で自由に弾んで踊ることをねらいとしている。

ダンスはリズムカルな全身運動であり、継続して行うことで柔軟性、平衡性、筋持久力などが高められる。

このような点から、ダンスを中学生の時期に行うことは大変効果的である。

(2) 生徒観 ～省略～

(3) 指導観

リズムダンスの授業では、「何をどのように」取り上げていくか、つまりリズムダンスの特性を生かす学習過程をどのように構想するかが重要となる。

自由な創造型のリズムダンスの学習は決まった技術や形を身につけていく「習得型」

の学習ではなく、ゴールフリー的な「探求型」の学習を基本としている。つまり、「やってみる（習得）」から「ひろげる（活用）」への学びの往還を繰り返しながら、「ふかめる（探求）」へと発展させ、そのプロセスの総体が「探求型」の学習になっているのが特徴である。したがって、リズムダンスの単元の学習は、毎時間「踊る・創る・見る（交流する）」の楽しさを含みながら特性に触れ深めていくように、「いろいろなリズムによって全身で自由に即興的に踊る」から「まとまりをつけて踊る（簡単な作品）」へ、2つの楽しみ方を柱として構成されている。

ダンス領域は、1年生でフォークダンスを行い、2・3年生で現代的なリズムのダンスを行う。体育祭では、毎年3年生が中心となりロックの曲で応援合戦の踊りを作っている。そのため現2年生は、1年生の時から踊る経験はあるが、自分たちでダンスを作り上げていくことは初めてである。

本単元では、前半は毎時間ロックのリズムに合わせて即興的に踊り、全身を使って踊る楽しさを味わわせたい。また身体ほぐし運動を取り入れ、友だちと関わって踊る楽しさを感じさせると共に、4つのくずしについての理解を深めたい。教師も楽しく生徒と踊ることで人前で踊る抵抗感を無くしていきたいと考える。単元後半では、グループを形成して1分半程度の長さで選曲し作品を作りあげ、クラスや学年で交流会を行う。まずはリーダーを交代しながら即興的に踊らせ、その中からおもしろい動きや楽しい動きをつなぎ合わせたり、既習した振りを取り入れたりする。それに最初と最後のポーズを決めてひとながれの作品を完成させたい。

その過程の中で、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りを通じた交流ができるようにする。また、ダンスの学習に積極的に取り組み、仲間のよさを認め合うことなどに意欲をもち、健康や安全に気を配るとともに、ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫することを目指したい。

4 単元の評価規準 ●：第2学年の評価規準 ○第1学年の評価規準

①運動への関心・意欲・態度	②運動についての思考・判断	③運動の技能	④運動についての知識・理解
○ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。 ●よさを認め合おうとしている。 ○分担した役割を果たそうとしている。 ●仲間の学習を援助しようとしている。 ○健康・安全に留意している。	○自分の興味や関心に合ったテーマや踊りを設定している。 ●課題に応じた練習方法を選んでいる。 ●練習や発表の場面で、仲間の良い動きや表現などを指摘している。 ○学習した安全上の注意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	①リズムの特徴をとらえて踊ることができる。 ②変化のある動きを組み合わせて踊ることができる。 ③リズムに乗って全身で踊ることができる。 ④簡単なまとまりをつけて作品を作り上げ、発表し見せ合うことができる。	●ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。 ○踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。 ●表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ○ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。

5 指導計画と評価計画（全8時間：本時5／8）

（1）指導と評価計画

時間	学習のねらい	おもな学習活動	評価規準（評価方法）
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスの特性を理解す。 ○単元の見通しを持つ。 ○よさを認め合おうとする。 ○ロックのリズムに合わせた基本的な動きを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○ロックのリズムで踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒にリズムに乗って踊る。 ・8,8,4,4,2,2,1,1,1,1 のリズムで踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスの特性について正しく理解し、学習した具合例をあげている。 <p>【知・理①】（ワークシート）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ダンスに親しむ。 ○動きを組み合わせて、変化とまとまりをつけて連続して踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体ほぐし運動で、4つのくずし（身体・人間関係）を確認する。 ○ロックのリズムで踊る。 <ul style="list-style-type: none"> ・2人組で自由に踊る 	<ul style="list-style-type: none"> ○よさを認め合おうとしている。 <p>【関・意・態①】（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リズムの特徴をとらえて、全身で自由に弾んで踊ることができる。 <p>【技①】（観察）</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。 ○表現の仕方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体ほぐし運動で、4つのくずし（空間・リズム）を確認する。 ○先頭の人動きをまねておどる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 <p>【思・判①】（観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。 <p>【知・理②】（ワークシート）</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した技能を生かして、ダンス作りをする。 ○仲間の活動を援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ分けをして選曲をする。 ○オリジナルダンスを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを交代しながら即興的に踊った中で、楽しい気に入った動きをいくつかつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○動きを組み合わせて、変化とまとまりつけて連続して踊ることができる。 <p>【技②】（観察）</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ○習得した技能を生かして、ダンス作りをする。 ○仲間と動きを合わせたり、ずらしたりして、リズムに乗って踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○オリジナルダンスを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ひと流れのダンスにしている。 ・お互いに見合って良かったところを発表し合い、自分たちの特徴を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間の学習を援助しようとしている。 <p>【関・意・態②】（観察）</p>

6 本 時	<p>○習得した技能を生かして、ダンス作りをする。</p> <p>○仲間の良い動きや表現などを指摘する。</p>	<p>○オリジナルダンスを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くずしをイメージできるような他クラスの映像を鑑賞し、ダンス作りの参考にする。 ・4つのくずしの中の2～3つを取り入れ、オリジナルダンスをより豊かなものにしていくための工夫をする。 	<p>○練習や発表の場面で、仲間の良い動きや表現を指摘している。</p> <p>【思・判②】（観察）</p>
7	<p>○習得した技能を生かして、ダンス作りをする。</p> <p>○簡単なまとまりをつけて作品を作り上げ、発表し見せ合う。</p>	<p>○オリジナルダンスを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに合わせた最初と最後のポーズを決め、ダンスを完成させる。 	<p>○仲間と動きを合わせたりずらしたりして、リズムに乗って踊ることができる。</p> <p>【技③】（観察）</p>
8	<p>○練習してきた成果を発表する。</p> <p>○グループ間で動きを見せ合って交流する。</p>	<p>○交流会をする。</p> <p>○踊ってみたいグループのダンスをみんなで踊る。</p>	<p>○簡単なまとまりをつけて作品を作り上げ、発表し見せ合うことができる。</p> <p>【技④】（観察）</p>
9	<p>○練習してきた成果を発表する。</p> <p>○グループ間で動きを見せ合って交流する。</p>	<p>○学年全体で交流会をする。</p> <p>○踊りたいグループのところへ行って、一緒に踊る。</p>	<p>○簡単なまとまりをつけて作品を作り上げ、発表し見せ合うことができる。</p> <p>【技④】（観察）</p>

(2) 指導内容及び「学習活動に即した評価規準（第2学年 ダンス：現代的なリズムのダンス）

運動への 関心・意欲態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>【指導内容】</p> <p>• 仲間の演技を認めあ って学習すること は、お互いの運動意 欲が高まること。</p> <p>↓</p> <p>①よさを認め合おうとし ている。【評価規準】</p> <p>• 自己の能力を高め ること。 • 仲間との連帯感を 高めて気持ちよ く活動すること。</p> <p>↓</p> <p>③仲間の学習を援助しよ うとしている。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>• 活動の仕方、組み 合わせ方、安全上 の留意点などの 学習した内容を 学習場面に適用 したり、応用した りする場の設定。</p> <p>↓</p> <p>①課題に応じた運動の 取り組み方を工夫し ている。【評価規準】</p> <p>• 仲間のよいアイデ アや表現に賞賛 するなど、客観的 な立場から、自己 と他者の違いを 認め、そのよさを 認め合う場の設 定。</p> <p>↓</p> <p>②練習や発表の場面 で、仲間の良い動き や表現などを指摘し ている。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>• シンプルなビート を強調すること。</p> <p>↓</p> <p>①リズムの特徴をと らえて踊ることが できる。【評価規準】</p> <p>• いろいろな動きを 素早く動いてみ たり、止まったり することを組み 合わせること。</p> <p>↓</p> <p>②動きを組み合わせ て連続して踊るこ とができる。</p> <p>• 弾む動きで、体の 各部位でリズム をとったり、体幹 部を中心にリズ ムに乗って、全身 を使って踊ること。</p> <p>↓</p> <p>③リズムに乗って全 身で踊ることがで きる。</p> <p>• 1分程度の曲に合 わせ、短い動きを 繰り返す、対立す る動きを組み合 わせる、ダイナミ ックなアクセント を加えるなど の変化や、個と群 れの動きを強調 してまとまりを 付けること。</p> <p>↓</p> <p>④簡単なまとまりを つけて作品を作り 上げ、発表し見せ合 うことができる。</p>	<p>【指導内容】</p> <p>• ダンスは仲間とと もに感じを込め て踊り、イメージ をとらえて自己 を表現する楽し さや喜びを味わ うことのできる 運動であること。 • 他者とのコミュニ ケーションを豊 かにすることを 重視する身体表 現であること。</p> <p>↓</p> <p>①ダンスの特性や成 り立ちを理解して いる。【評価規準】</p> <p>• 軽快なリズムに乗 って全身で弾み ながら自由に踊 るなどの身体を 使った表現の仕 方があること。</p> <p>↓</p> <p>②表現の仕方につい て理解している。</p>

(3) 学習過程と評価機会とその方法

次		第1次			第2次				第3次		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
学習活動	10 20 30 40	準備運動(リズムに合わせて踊る)									
		授業の流れを確認									
		オリエンテーション	身体ほぐし運動で4つのくずしを確認する			グループ作り (即興で作ったダンスをつなげよう)	グループでダンス作り (くずしを意識してダンスを作る)	グループでダンス作り (より格好よく踊る工夫しよう)	グループでダンス作り (初めと終わりのポーズを決める)	発表に向けて練習	学年で発表会
		8 8 4 4 2 2 1 1 1 1	ペアかグループで踊りを考える			グループでダンス作り	合わせ	合わせ	発表会	発表会	学年で発表会
		1 1 1 1	見せ合い、意見交流				発表会	発表会			
		1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会
		1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会
		1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会
		1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会
		1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会
1 1	見せ合い、意見交流			発表会	発表会	発表会	発表会	発表会	発表会		
学習カードの記入・全体のまとめ・挨拶											

評価方法	関・意・態	●①	○①		●②	○②			
	思・判			○①			○②		
	技能	●①	○①②		○②	●③		○③④	○④
	知・理	○①		○②					

●指導機会 ○評価—関心・意欲・態度については、指導をして一定期間おいてから評価する。

6 本時の学習

(1) ねらい 他のクラスの映像を見たり、活動場面で仲間の良い動きや表現などを取り入れ
たりして、ダンスづくりをグループで工夫している。【思・判②】

(2) 準備 ラジカセ、CD

(3) 展開

過程	●学習活動	○教師の支援 ☆評価
導入 15分	1. ウォーミングアップで体をほぐす ・簡単な動きをみんなと一緒に踊る。 2. 前時の活動を振り返ったり、他のクラスの映像を見たりして、自分たちのダンスをより格好良くするためのポイントを発表する。 3. 本時のねらいや学習内容と課題の確認をする。	○楽しい雰囲気、リズムを感じながら弾んで踊るようにさせる。 ○前時に意見交換をした時の内容を表にまとめたものを提示する。 ○他のクラスの映像を準備する。 ○4つのくずしが意識できるようにポイントを確認する。 ・空間を広く・全身を使って・動きが個性的 ・隊形が変わる ・静止、スローモーション ○本時の学習内容を伝え、課題への意欲を持たせる。
より格好良く踊るための工夫をしよう		
展開 30分	4. グループで、オリジナルダンスを作成する。 ・4つのくずしを取り入れて、より格好いいダンスになるように意見を出し合う。 ・オリジナルダンスの交流会を行う。 ・良かった点や工夫した点について意見交流する。	○教師がグループをまわってポイントをアドバイスしたり、一緒に踊ったりして活動を支援する。 ○止まった話し合い活動にならないように、停滞しているグループには動きながら考えるように促す。 ☆仲間の良い動きや表現などを取り入れ、ダンスづくりを工夫している。【思考・判断】（観察） ○見ている側も手拍子をしたり、かけ声をかけたりして盛り上げるように促す。 ○自分たちのグループが本時工夫した点や他グループの良かった点などを発表させる。

	<ul style="list-style-type: none"> 2グループずつ踊り、残りの2グループは後ろで一緒に踊る。 	<p>☆仲間の良い動きや表現などを指摘している。</p> <p>【思考・判断】（観察）</p> <p>○他のグループと一緒に踊って、良い動きや表現を積極的に参考にさせる。</p>
終末 5分	<p>5. 学習のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードに自己評価と次時の課題を記入する。 次時の学習内容の確認、あいさつ 	<p>○本時の学習への取り組み状況や課題の達成状況についての確に振り返りをさせる。</p> <p>○次時の学習内容を伝え、見通しを持たせる。</p>

(4) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	概ね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手当て
運動についての思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 仲間の良い動きや表現などをポイントを絞り適切に指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習や発表の場面で、仲間の良い動きや表現などを指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートや学習したことを確認し、動きやポイントを確認するように助言する。

7 本時の視点

- 変化のある動きを取り入れてグループで工夫していくために、他のクラスの映像を見せたこと、教師の言葉かけは有効であったか。